



略歴



UNITED STATES AIR FORCE

COLONEL DONAVAN “D-VAN” LASKEY

ドナバン“ディーバン”・ラスキー大佐

ドナバン“ディーバン”・ラスキー大佐は、横田基地第 374 空輸航空団の副司令官を務める。大佐は太平洋地域における唯一の空輸航空団の司令官を、管理、訓練および指揮統制面において補佐する。横田基地は西太平洋の空輸拠点として、米国の前方展開と危機対応を保障するために、即応態勢の整った部隊および基地運用支援を提供する。

ラスキー大佐は、カリフォルニア州パラダイス出身。1988 年に入隊し、将校訓練校を経て 2004 年に任官した。これまでに、中隊、群、航空団レベルにおいてさまざまな指導的役職を歴任した。大佐は、操縦士訓練課程、C-130 初期資格認定訓練、および C-130 教官操縦士訓練課程を修了し、ジョイント・フォージ作戦、南部監視作戦、イラクの自由作戦、不朽の自由作戦、新しい夜明け作戦、固有の決意作戦にて戦闘派遣任務にも従事した。ラスキー大佐は、C-130E、H、J において 3,700 時間以上の飛行経歴を有する上級操縦士であり、そのうち 1,000 時間以上の戦闘飛行時間に就いた。また、大佐は、航空機動軍団が誇る「フェニックス・モビリティ」指導者育成プログラム、空軍立法フェローシップ、空軍戦争大学における統合作戦研究セミナーを修了している。



学歴

- 2001 年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍コミュニティ・カレッジ 通信応用技術学 準学士号
- 2002 年 ニューヨーク州オールバニー エクセルシオール大学 教養学部 学士号
- 2010 年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 中隊長士官学校 優秀卒業生
- 2012 年 ウェストバージニア州チャールズ・タウン 米国軍事大学 緊急・災害管理学 修士号
- 2015 年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍指揮幕僚大学(通信)
- 2016 年 ワシントン D.C. 空軍立法フェローシップ課程修了
- 2022 年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍戦争大学 統合作戦研究課程戦略研究 修士号

職歴

1. 1998 年 5 月–2000 年 3 月 カリフォルニア州モンテレー、プレシディオ・オブ・モンテレー、防衛語学学校 学生
2. 2000 年 4 月–2004 年 8 月 イギリス・英国空軍ミルデンホール基地 第 488 情報中隊 空挺暗号言語(ヘブライ語)専門官
3. 2004 年 8 月–2005 年 10 月 オクラホマ州バンス空軍基地 操縦士訓練課程訓練生、将校訓練課程訓練生
4. 2005 年 11 月–2006 年 9 月 テキサス州コーパスクリスティ海軍航空基地 初等海軍操縦士課程訓練生
5. 2006 年 10 月–2010 年 10 月 アーカンソー州リトルロック空軍基地 C-130E 初期・任務技能資格訓練訓練操縦士、C-130E/H 基準・評価連絡官、第 61 空輸中隊および第 53 空輸中隊において中隊副官、C-130E/H 航空機指揮官、安全管理長

6. 2010 年 10 月–2011 年 6 月 ドイツ・ラムスタイン空軍基地 第 37 空輸中隊航空機指揮官および中央スケジュール調整官
7. 2011 年 6 月–2013 年 8 月 ドイツ・ラムスタイン空軍基地 第 86 運用支援中隊 C-130J 教官操縦士および航空団運用管理部長
8. 2012 年 5 月–2013 年 5 月 (派遣)イラク・バグダッド、在外訓練主任、のちにイラク安全保障協力室 副長官付副官
9. 2013 年 8 月–2015 年 7 月 カリフォルニア州トラビス空軍基地 第 571 地上機動中隊 フェニックス機動士官、作戦飛行指揮官、のち作戦副部長および緊急対応部隊司令官
10. 2015 年 7 月–2017 年 1 月 ワシントン D.C.、ジム・クーパー下院議員事務所 空軍立法フェロー
11. 2017 年 1 月–2018 年 8 月 ペンタゴン・ワシントン D.C.、空軍省議会連絡室調整官 戦力構成・戦略配室長
12. 2018 年 8 月–2019 年 6 月 横田基地 第 374 運用支援中隊 運用部長
13. 2019 年 6 月–2021 年 7 月 横田基地 第 374 運用支援中隊司令
14. 2021 年 6 月–2022 年 5 月 アラバマ州マクスウェル空軍基地 空軍戦争大学 統合作戦研究セミナー 学生
15. 2022 年 6 月–2024 年 6 月 イタリア・ナポリ 北大西洋条約機構(NATO)連合合同軍および米海軍欧州・アフリカ軍の司令官付補佐官
16. 2024 年 6 月–2025 年 6 月 NATO 連合合同軍、米海軍欧州・アフリカ軍、および米空軍部隊の司令官付副官
17. 2025 年 6 月–現在 横田基地および第 374 空輸航空団副司令官

統合任務経歴

1. 2023 年 6 月–2025 年 6 月 NATO 連合合同軍、米海軍欧州・アフリカ軍、および米空軍部隊の司令官付副官

飛行経歴

等 級: 上級操縦士

飛行時間: 3,700 時間以上 (1,000 時間の戦闘飛行を含む)

飛行機種: RC-135(下士官乗員として)、T-37, T-44A, C-130E/H, C-130J

主な受勲

青銅星章

功績章 3 回

航空章 5 回

航空功労章 3 回

統合任務称揚章

空軍称揚章 3 回

統合任務功労章

海軍功労章

国務省功績栄誉章

2011 年度第 86 空輸航空団最優秀将校

空輸タンカー協会次世代リーダー賞

空輸タンカー協会ロバート“ダッチ”・ハイザー大将賞パイロット部門

昇任年月日

2004 年 11 月 4 日 少尉

2006 年 11 月 1 日 中尉

2008 年 11 月 1 日 大尉

2015 年 4 月 1 日 少佐

2018 年 10 月 1 日 中佐
2024 年 6 月 1 日 大佐

2025 年 7 月 現在